

疫学研究に関する情報公開

福島県立医科大学(福島医大)耳鼻咽喉科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の疫学研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成27年4月 福島県立医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座 講座主任

【研究課題名】 鼻副鼻腔がんの治療効果に関する後ろ向き観察研究

【研究期間】 平成27年4月～平成32年3月

【研究の意義・目的】 鼻副鼻腔は脳や目、口腔を隣接するため根治切除に制限があり、鼻副鼻腔がんは放射線や化学療法に比較的感受性が高く、手術に放射線、化学療法を併用して治療を行うことが多い疾患です。一方で腫瘍型は多様であり、亜型も多いため治療効果は相違がある可能性があります。本研究は2014年までに治療を行った鼻副鼻腔がんの効果を後ろ向きに観察し病理組織型との治療効果の関係を検討します。

【研究の方法】

1. 主任研究者が作成した以下の項目に関する調査票を分担研究者へ送付します。
項目： 治療時年齢、性別、既往症、罹患部位、臨床病期、治療法（外科療法、放射線療法、化学療法）、病理標本番号、治療による有害事象の有無・程度、観察期間および転帰
2. 10年間（2005年から2014年まで）に当学付属病院耳鼻咽喉科頭頸部外科で治療を行った症例について診療情報を調査票へ紙データとして記入し、主任研究者へ提出します。
3. 病理診断分類を担当する分担研究者は主任研究者から2.の紙データのうち病理標本番号のみを抽出した票を受け取り、付属病院病理部に保存されている標本より病理診断を確認・記入し調査票（紙データ）を主任研究者に返却します。
4. 調査票は3.の紙データと連結し、調査票（個人情報のない匿名化されたエクセルデータ）を作成します。患者個人情報（病院ID・病理標本番号を含む）を含む紙データは記入を行った各分担研究者の責任のもと、シュレッダー処理後に廃棄します。そのため紙データ廃棄後にエクセルデータは患者情報（紙データ）と連結不可能となります。調査票（個人情報のない匿名化されたエクセルデータ）から、病理診断と診療経過の関連を調査します
5. 本研究結果を学術集会にて発表し、論文を作成し学術雑誌に投稿します。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者	福島医大医学部耳鼻咽喉科学講座	教授	大森 孝一
主任研究者	福島医大医学部耳鼻咽喉科学講座	准教授	松塚 崇
分担研究者	福島医大医学部病理病態診断学講座	准教授	鈴木 理
	福島医大医学部耳鼻咽喉科学講座	病院助手	佐藤 廣仁

【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、被験者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には書等の交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

【本研究に関する問合せ先】

○研究内容に関する問合せの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座 担当 松塚 崇

電話:024-547-1111 FAX: 024-548-3011

E-mail:tmtzk@fmu.ac.jp

○個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 総務課 大学管理係

電話:024-547-1007 FAX :024-547-1995

○その他ご意見の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 研究推進課 研究支援担当

電話:024-547-1825 FAX: 024-547-1991

E-mail:rs@fmu.ac.jp